

207mm

A



NO. 7 【次世代育成事業】

平群町民生児童委員協議会

地域の身近な相談相手「私たち民生児童委員」
 今年は、3つの事業のうち、従来の事業と新たな事業を展開しました。
 従来の事業である1つ目は、中学3年生を対象に危険薬物の恐ろしさを伝える「薬物防止講演会」と2つ目は、平群町内の新生児宅に訪問しベビー用品のプレゼント（74件）届ける「赤ちゃん誕生おめでとう訪問」の事業を行いました。
 新たな事業では、小学校の教科書に民生児童委員の役割について載っていることから、各小学校6年生を対象に民生児童委員の役割について出前授業を行いました。
 皆様からいただきました共同募金を平群町の地域で活用させていただき感謝しております。
 ありがとうございました。

NO. 8 【防災講習会・訓練事業】

平群町ボランティア連絡協議会

災害に備え、公助の前の自助力アップに!!

いつ起こるか分からない豪雨・地震など大規模な自然災害に、自助・共助の知識向上を目指し住民同士のつながりが強固なものになることを目的とし「第1回へぐり防災フェスタ」と名付け防災講習会・訓練を行いました。
 非常食を利用したの炊き出し、防災減災体験、消火体験などを行いました。また、防災講演会では桜井市朝倉台自主防災会の方をお招きし、地域の取り組みについて学び、防災への知識向上の習得になりました。
 ありがとうございました。



NO. 9 【学校ボランティア協力校活動費助成事業】

平群町社会福祉協議会



成長していく中で、大切なことを学びました

皆様からいただきました募金を地域の児童・生徒のボランティア活動推進の一助となるよう継続して募金を活用させていただいております。各学校の取り組みでは学校生活を豊かにする活動として、校内の清掃活動や植物の栽培を行いました。また、6年生を対象にLGBTQへの理解を深め互いに認め合うことの大切さを学びました。
 福祉教育では、車いす・手話・点字体験とおしてボランティア活動への意識と助け合いの精神が高まり、これから成長し大人になっていく過程で、とても貴重な学びができたと実感しております。
 皆様のご協力本当にありがとうございました。

210mm

B

NO. 10 【小地域ネットワーク連絡協議会運営強化事業】

平群町社会福祉協議会



活動再開! やっぱりつながりが大切

今年は代表者のワークショップから出てきた「集いの場までの移動課題」について先駆的な取り組みをされている葛城市や山添村の事例を学習会および先進地視察として学ぶことができました。ありがとうございました。
 今後も、募金を平群町の地域活動のために役立てられるよう取り組みを行ってまいります。

NO. 11 【共同募金活動推進事業】

平群町社会福祉協議会

共同募金は人と人を繋ぐ!

多くの寄附者に支えられ、今年も町内の駅頭・店頭・イベント会場にて無事に募金運動を展開することができました。ありがとうございました。
 募金運動の資材のガチャポン募金に新たに信貴山のPRキャラクター「しぎとらくん」とコラボし缶バッジ作成しました。また、共同募金マスコットキャラクター「愛ちゃん」の応援を得て、平群町内のイベントを盛り上げるとともに募金でつながる地域福祉活動となりました。
 翌年も、ご理解とご協力をよろしくお願いします。



今年も、10月1日～3月31日までの期間、『赤い羽根共同募金運動』を展開します。平群町共同募金委員会は、今後もより一層丁寧に、より深く共同募金のしくみを寄附者に理解していただくことにつながるよう努力してまいります。

令和5年度にご協力いただきました募金は、令和6年度実施する助成事業に配分いたします。みなさまの温かいご支援・ご協力ありがとうございました。

令和5年度募金総額 1,968,344円
 募金総額の内訳
 1,467,344円 (平群町の地域福祉事業)
 403,000円 (奈良県の地域福祉事業)
 98,000円 (事務費)

令和8年度
赤い羽根共同募金助成事業申請について

令和7年4月号の「社協だより」、ホームページなどでご案内します。
 助成事業の申請を検討されておられる団体は、平群町共同募金委員会事務局(社会福祉協議会内・総務地域福祉係)までご相談ください。



平群町共同募金委員会

〒636-0914 奈良県生駒郡平群町西宮2-1-6
 (平群町社会福祉協議会内)
 TEL 0745-45-5710
 FAX 0745-45-7363
 E-mail offic@heguri-shakyo.or.jp



当会の「ありがとうメッセージ」は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

210mm(表紙の面です)

C

自分のまちを良くするしくみ

赤い羽根共同募金

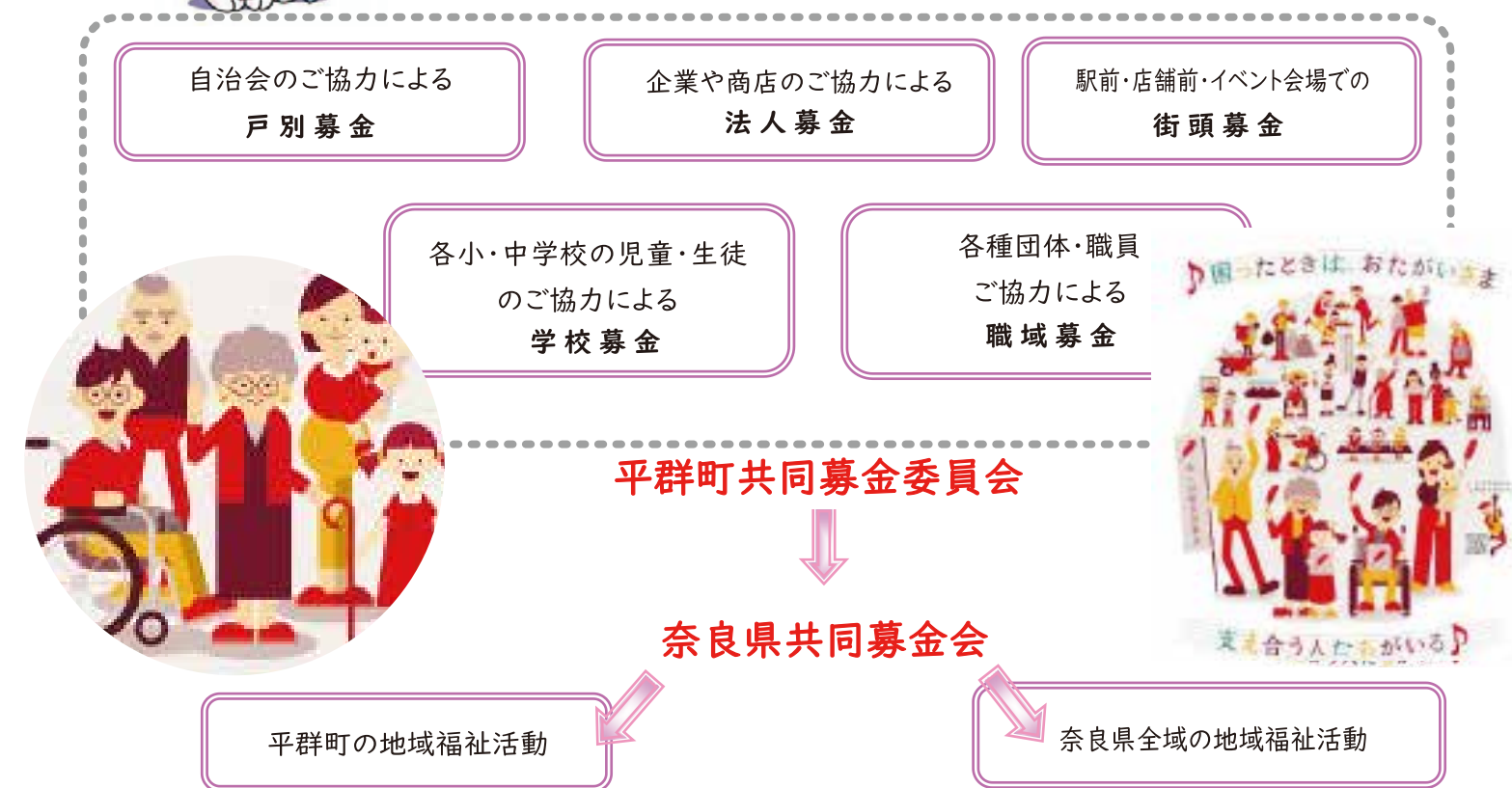


赤い羽根をシンボルとする共同募金は、戦後、民間の社会福祉施設などに対する財政支援のために行われていた民間の募金活動を制度化したものです。今日では、各都道府県に設立された共同募金会が実施主体となって、社会福祉を目的とする様々な事業活動に幅広く活用されるようになりました。毎年1回、厚生労働大臣の定める期間内において募金を募り、奈良県内の子どもたちや高齢者また障がい者の方を支援するさまざまな福祉活動・災害時支援に役立てられています。

募金による助成は、地域の福祉団体からの助成事業計画に基づき募金活動を実施し、翌年度に助成配分を行っています。



ご協力いただいた募金は次のような流れで地域福祉に活用されます。
 募金をとおして、福祉のまちづくりに参加しませんか?
 赤い羽根共同募金は、平群町の町をよくなる募金です。



平群町共同募金委員会では、コロナ渦の影響が残る環境下ではありましたが、地域での支えあい・つながりの活動は必要不可欠であることから、「つながりをたやさない」を合い言葉に積極的に駅頭・店頭・イベントでの募金運動を展開しました。

令和5年度に助成を受けて、事業を実施した団体より、『**ありがとうメッセージ!**』の感謝の気持ちをご紹介させていただきます。